

目標像	使命
経済主体である企業が活発に活動し、持続的に発展できる都市をめざす。	都市機能を支える「税収」や「市民の雇用・所得」を維持・増大するには、経済の活性化が不可欠であり、経済主体である企業の事業活動を活発化するための取り組みが必要である。 平成20年秋の経済危機以降、1年以上が経過したが、依然として企業にとって厳しい経済状況が続いている現状を踏まえ、まずは企業がこの厳しい経営環境を乗り越えるための施策を実施しつつ、景気回復後の先を見据えた施策についても取り組んでいく。

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (百万円)
経営課題 1 の背景となる現状	経営課題 1 【企業の事業継続及び経営力強化 や事業拡大等に対する支援】	戦略 1－1 【事業安定化・経営力強化と創業・成長促進に向けた支援】	取組 1－1－①大阪産業創造館を中心とした中小企業支援	414
・世界的な金融不安から始まった日本経済の景気悪化は、持ち直しつつあるものの、足取りは重く、厳しい状況に変わりはない。	依然厳しい経営環境において、企業が安定して事業を継続できるよう、また経営力強化を図り、事業拡大等に取り組めるよう支援を行い、活力の維持・向上を図る。	総計元気(010101、010102、010203、010204、010205、010301、020103、030101) ・大阪産業創造館を中心に、中小企業の事業安定化・経営力強化や創業・成長促進に向け、企業ニーズを考慮し、現状分析、課題解決、事業拡大など段階に応じ支援を行う。 ・ものづくり企業に対しては、技術支援等を通じて、製品開発力の強化を図る。また、大阪産業創造館と工業研究所の支援事業の連携のあり方を検討する。 ・今後、少子高齢化等により国内市場の拡大は限界があると考えられるため、経済成長を続けるアジア地域を中心に企業の「売りづくり」を支援し、海外市場の販路開拓を促進する。 ・厳しい経済情勢が続く中、懸命に努力されている中小企業の円滑な資金調達を支援する。	・様々な分野の専門家によるコンサルティングやセミナー等を実施し、経営課題の解決を促す。 ・ビジネスパートナーや投資家等との多様なマッチングの機会を提供し、企業の事業拡大を促進する。 元気 ・豊富な経験と人脈を持つ企業OBが、優れた技術を持つ企業に提携先等を紹介するほか、流通ルートを持つ専門家が中小・ベンチャー企業の商品の目利きやマッチングなどを行い、販路拡大を促進する。 〔業績目標〕・販路開拓支援によるマッチング件数：800件	
・特に市内事業所の99％を占め、大阪経済の主要な担い手である中小企業にとっては、内需の縮減や資金逼迫など厳しい経営環境が続いている。		〔達成目標：大阪産業創造館を中心とした中小企業支援〕 ・企業の経営課題の解決を支援し、売上や利益の拡大を図れるようにする。 〔達成目標：大阪産業創造館を中心とした創業支援〕 ・大阪産業創造館の事業による創業件数 21～23年度に合計500件以上 〔達成目標：ものづくりの技術支援〕 ・製造品出荷額等に占める付加価値額の割合を東京都区部や主要都市の中で最も高い水準を目指す。 ・新たに工業研究所を利用した企業数：50社以上(21年度～23年度) 〔達成目標：中小企業の国際ビジネス展開の促進〕 ・在阪企業の高い技術を国内外に発信し、継続して企業独自で販路開拓を図れるようにする。 ・市内中小企業が積極的に国際ビジネスを行うことにより、事業拡大・技術提携を図れるようにする。 〔達成目標：中小企業の資金調達の円滑化支援〕 ・資金不安を抱える、または意欲的に事業に取り組む中小企業の円滑な資金調達が行われるようにする。	取組 1－1－②大阪産業創造館を中心とした創業支援	(414)
・大阪経済は、事業所数が減少し、他都市と比べ高い水準で廃業が開業を上回るほか、製造業や卸売・小売業といった主要産業の競争力が低下している。			・創業形態や課題別のコンサルティング、セミナー、ワークショップなど、多様なニーズに対応した支援メニューを提供し、創業を促進する。 ・創業期の企業の発展を促進するため、創業直後～3年目程度の事業者を対象に、固有課題に対応したプログラムを提供し、創業期の企業の経営安定を促進する。 〔業績目標〕・大阪産業創造館の事業による創業件数：165件 ・大阪産業創造館の事業により創業した企業へ1年間のフォローアップ実施	
・優れた技術や独創的なアイデアに基づいた付加価値の高い製品やサービスを提供し、成長を続ける中堅・中小企業が、市内に多く立地している。			取組 1－1－③インキュベーション事業の推進	654
・今後、少子高齢化等により国内市場の拡大には限界があるが、成長を続けるアジア地域は新たな市場開拓先になり、また本市はビジネスパートナー都市など独自の海外ネットワークを有している。			・それぞれのインキュベーション施設入居者に対し、インキュベーションマネージャーによる日常的な相談等、きめ細やかな経営支援を行うとともに、ビジネスマッチングイベントなどを実施し、販路開拓や事業提携を支援することで、入居企業の成長促進を図る。 〔業績目標〕・インキュベーション入居者の満足度：80％	
			取組 1－1－④ものづくりの技術支援	1,097
			元気 ・工業研究所技術開発支援事業： 工業研究所が、企画開発から製品化に至るまで一貫した支援を行うことにより高付加価値なものづくりを支援し、企業の製品開発力を強化する。 〔業績目標〕・研究プロジェクト数：4件 ・研究成果普及等にかかるセミナー開催：4件以上 ・製品化支援：5件以上	
			取組 1－1－⑤中小企業の国際ビジネス展開の支援	89
			重元気 ・「売りづくり」の視点からの製品開発や海外展開支援： 海外の市場動向やニーズを熟知した企業OBなどにより、「売る」という視点から、製品開発を行うためのアドバイスや海外見本市等への出展サポート、経済セミナー等を通じた国際ビジネス情報の提供など、売り先に応じたものづくりや販路開拓を支援する。	

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (百万円)
経営課題 1 の背景となる現状 (前頁に同じ)	経営課題 1 (前頁に同じ)	戦略 1－1 (前頁に同じ)	取組 1－1－⑤中小企業の国際ビジネス展開の支援 (前頁から続く) 〔業績目標〕 ・海外展開支援相談件数 100件 ・海外見本市 5 ヶ所に出展、商談件数14件/社、成約見込件数6件 ・海外展開支援にかかる経済セミナー参加者数：4,300人	
			取組 1－1－⑥中小企業への資金支援 ・国の景気対応緊急保証に対応した制度融資に取り組み、資金不安を抱える企業の資金調達を支援する。 ・大阪産業創造館や金融機関が蓄積した中小企業の強みや技術力等の情報を審査に活用し、経営革新等に取り組む中小企業への融資を実施する。	138, 149

経営課題 2 の背景となる現状 ・関西・大阪には、高度な研究成果を有する大学や研究機関が数多く立地し、産学連携も進展している。 ・次世代ロボットテクノロジー(R T)や健康・予防医療などは、市場の将来性が期待されるものの、次代の大阪経済を牽引する新産業として十分に育っていない。 ・北区を中心に、デザインや広告、映像などクリエイティブ企業が集積し、ものづくりなど他産業との連携により、産業の高付加価値化、製品・サービスの差別化を促進するポテンシャルを有している。 ・低炭素社会の構築に向けた世界的な機運が高まるなか、『環境への配慮が商品価値を持つ社会』への産業転換が必要となっている。 ・関西には、電池などをはじめ、省・新エネルギー関連を中心に、環境産業のポテンシャルを有している。 ・優れた技術や独創的なアイデアに基づいた付加価値の高い製品やサービスを提供し、成長を続ける中堅・中小企業が、市内に多く立地している。(再掲) ・高い課題解決力で成長を続ける中堅企業群が存在し、大阪経済の活性化につながっている。	経営課題 2 【今後の成長産業や新事業への参入支援】 今後成長が期待される産業分野や新事業へ、産業の基盤となるものづくりを中心に、企業の参入支援などを行い、次代を見据えた大阪経済の活性化につなげる。	戦略 2－1 【未来に向けた投資】 総計 元気 (010201、020102、020103、020201、020202、20203、020302、020303) ・未来に向けた投資として、次世代R T(ロボットテクノロジー) 産業、クリエイティブ産業(デザイン・広告等)、健康・予防医療産業の振興、ビジネス活動グリーン化に向けた支援等を行う。 ・ものづくりの新事業創出や新たな事業展開に向けた取り組みの促進、地域に集積するものづくりの企業間連携の強化や経営力強化を支援する。 〔達成目標：次世代R T産業の創出(20～22年度)〕 ・次世代R T分野の事業化プロジェクト数：24件 〔達成目標：クリエイティブ産業の創出・育成(20～22年度)〕 ・クリエイター同士の「顔の見える関係」を構築し、クリエイティブ産業の競争力強化を図る。 ・企業間ネットワーク形成のための交流会開催件数：50回 〔達成目標：健康・予防医療産業の創出(20～22年度)〕 ・健康・予防医療分野の商品化等プロジェクト数：15件 〔達成目標：グリーンビジネスの育成と発展〕 ・省・新エネ機器の開発・導入・普及を促進し、グリーンビジネスを育成・発展させる。 ・低炭素社会における新事業創出を目指し、環境・新エネルギー分野における新技術の研究開発・事業化を促進する。 事業化プロジェクトの組成 5件 〔達成目標：革新的技術の事業化の促進(20年度～22年度)〕 ・事業化プロジェクト数：9件	取組 2－1－①成長産業への支援 重 ・ロボットビジネス創出拠点形成事業： ・大阪駅北地区のナレッジ・キャピタルでのロボットビジネス創出拠点の形成に向け、今後の市場成長が期待できるテーマにおいて新事業創出の集中的な支援を行うとともに、拠点の事業運営を共に担うパートナー機関の発掘・連携や、求心力強化につながる国際ネットワーク形成に取り組む。 ・世界ものづくりサミットの開催等を通じ、「ロボット産業先進都市」として内外にアピールし、ロボット産業の創出につなげる。 〔業績目標〕 ・次世代R T分野の事業化プロジェクト数：8件 重 ・クリエイティブ産業創出・育成事業： 地域の特色ある集積を活かし、公民協働でクリエイティブ企業同士や異業種企業との広域的なネットワーク化等を図るとともに、その成果を広く情報発信し、多様なビジネスへの展開を支援する。 〔業績目標〕 ・クリエイター紹介件数：100件 ・民間主導のクリエイティブ関連イベントの登録件数：50件 ・クリエイター同士、ものづくり企業との連携・協働事例件数：250件 ・健康・予防医療産業創出事業： 癒し・抗疲労を中心とした分野における科学的根拠を有した商品開発を促進するための情報提供やコーディネート等を通じて、健康・予防医療産業の創出につなげる。 〔業績目標〕 ・健康・予防医療分野の商品化等プロジェクト件数：5件 ・ビジネス活動グリーン化推進事業 ・グリーンエネルギー関連技術研究開発促進事業： 工業研究所を中心とした産学官連携による共同研究のコーディネート、研究成果の事業化支援等により、低炭素社会に向けたグリーンエネルギー関連技術研究開発促進、地域企業への研究成果移転促進等を図り、大阪・関西地域の技術基盤強化や新事業創出につなげる。 〔業績目標〕 ・事業化プロジェクトの組成：1件 ・市内事業所の省エネ診断やセミナー、マッチング、設備導入資金融資を通じて、市内中小企業の省エネルギー化や新エネルギー活用に資する機器等の導入を促進する。 〔業績目標〕 ・市内中小企業の省エネに向けた意識の向上を図るセミナー参加者数：90人以上 ・国内外の温室効果ガス排出量取引制度の現状と課題を把握し、大阪における排出量の取引など活用方法について検討し、関係組織・企業等との連携を構築する。	365
--	---	---	--	-----

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (百万円)
経営課題2の背景となる現状 (前頁に同じ)	経営課題2 (前頁に同じ)	戦略2－1 (前頁に同じ)	取組2－1－②ものづくりの新事業創出や新たな事業展開に向けた取り組み - 革新的技術の事業化促進事業： 産学連携による共同研究やベンチャー企業等における事業化に向けた活動（マーケティング、資金調達等）を支援し、大学等の研究成果や技術を活用した新製品・サービスの実現を促進させる。 〔業績目標〕・事業化プロジェクト数：3件 元気 課題解決型ものづくり推進事業： 工業研究所が中心となって中堅企業と中小企業の連携体を作り、共同研究開発を通じて企業の課題解決を支援する。 〔業績目標〕・中堅企業と中小企業との共同研究開発の継続実施2件 - 大手企業ニーズに対応したサプライヤー機能強化のための調査研究：中堅企業の成長プロセスを手本とした、「次世代の中堅企業」の育成に向け、大手企業の製品開発・取引等に関するニーズに基づき、中小企業の成長分野への参入のための具体的な調査研究を行う。 〔業績目標〕・ターゲット分野の選定：1分野	45
経営課題3の背景となる現状 - 価値観の多様化により、市内全域を対象とした統一的な施策だけでなく、地域特性に応じた多様な施策が求められている。 - 地域資源を活用した地域産業の活性化が進展している。 - 商店数の減少、商店街の経営者の高齢化・後継者難、消費動向の変化等、商店街は厳しい環境におかれている。 - 市内各地には、地域の特色あるものづくりの集積がある。 - 都市化の進展や農業従事者の高齢化・後継者不足などにより市内農地が減少している一方、安心安全な素材など、食に対する関心が高まっている。 - NPOなど多様な主体による地域活性化の取り組みが生まれている。	経営課題3 【地域の多様な主体と協働した地域における産業の活性化】 市民、企業、NPO、団体など地域の多様な主体と協働しながら、地域における産業の活性化を図る。	戦略3－1 【地域特性に着目した地域密着型の事業の創出】 総計 (120105) - 地域特性や課題に対応するソフト事業や快適な商環境づくりにつながるハード事業への支援、市域全体で取り組む集客と回遊、販売促進につなげる事業の実施などにより、地域商業の活性化を促進する。 - ものづくりの地域集積（クリエイティブ企業を含む）を活かし、企業間連携の強化や経営力強化を図る。 総計 (180102 260261) - 貴重な市内農地の保全と市内農業の振興を図る。 総計 (010103 (再掲190404、200203) - 地域や社会の課題解決を図るコミュニティビジネス（CB）を支援する。 〔達成目標：地域に集積するものづくりの支援〕 - ものづくり施策の活用を促進し、地域におけるものづくりを活性化させる。 〔達成目標：クリエイティブ産業の創出・育成(20～22年度)(再掲)〕 - クリエイター同士の「顔の見える関係」を構築し、クリエイティブ産業の競争力強化を図る。 - 企業間ネットワーク形成のための交流会開催件数：50回	取組3－1－①商店街を中心とした地域商業の活性化支援等 - 商店街等の計画性・継続性及び事業効果が見込めるソフト事業への支援や、来街者の安全性や快適性の確保に必要な補修等のハード事業を支援 - 市域全体で取り組む、商店街等への集客と回遊、販売促進につなげる全市的な期間イベントの実施 〔業績目標〕・商業魅力向上事業件数：20件 ・(仮称)大阪あきない祭りのメインイベント開催:2日間、街中イベント：10ヶ所	91
			取組3－1－②地域に集積するものづくりの支援 元気 - ものづくり企業が集積する地域において、地域の拠点である区役所や経済団体等と協力し、地域の特性に応じた事業を展開する。 〔業績目標〕 - 地域特性に応じた事業（セミナー、展示会など）実施件数：2件以上 重 〔再掲：取組2－1－①〕 - クリエイティブ産業創出・育成事業： 地域の特色ある集積を活かし、公民協働でクリエイティブ企業同士や異業種企業との広域的なネットワーク化等を図るとともに、その成果を広く情報発信し、多様なビジネスへの展開を支援する。	130 (うち再掲:116)
			取組3－1－③都市農業の振興 農業者団体との協働による農業フェアの開催などを通じて、なにわの伝統野菜などの付加価値の高い地域農作物をPRし、消費拡大を図る。 〔業績目標〕・なにわの伝統野菜認証表示制度利用事業者：65件	4
			取組3－1－④コミュニティビジネスの支援 CBの具体的なビジネスプランづくり等に関するサポートとともに、業者間の交流機会の提供などを通じてCBの創業や事業の安定化を支援する。 〔業績目標〕・コミュニティビジネス交流事業への参加者数：150人	1

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (百万円)
経営課題4の背景となる現状 ・厳しい財政状況のもと、限られた人的・財政的資源の有効活用が必要である。	経営課題4 【経営資源の有効活用】 局施策を機動的に展開できるよう、より高い能力と意欲にあふれた人材の育成、資産の流動化など、経営資源の有効活用に取り組む。	戦略4－1 【職員の意識改革と人材育成】 ・全局的なコンプライアンス体制・相談体制を堅持する。 ・中小企業経営者の目線に立って、局事業の政策形成を行う人材を育成する。 〔達成目標：反復した学習による全局的な体制の堅持〕 ・全職員が一丸となって取り組めるコンプライアンス体制を堅持するため、反復した啓発・学習を行い、その周知徹底を図る。 〔達成目標：研修実施による人材育成〕 ・本市経済情勢や経営感覚を身につけ、企業経営者の立場に立った施策の企画運営ができる人材を育てる。	取組4－1－①職員の意識改革と人材育成 ○全職員が一体となって取り組む意識の醸成とコンプライアンスに関する知識の反復学習 ・反復した啓発・学習により、全職員が一体となって取り組む意識を醸成するとともに、コンプライアンスに関する知識を深める。 〔業績目標〕・課長会、研修等の実施（年2回） ○研修実施による人材育成 ・民間企業の課題解決手法を学ぶため、中小企業の立場に立ったケーススタディ型研修の実施する。 （課長代理級・係長級職員を対象） ・最新の経済情勢を把握し、施策の企画立案等に反映させるためのセミナーを実施（全職員を対象）する。 〔業績目標〕・研修（8月）及びセミナー（年2回）の実施	—
		戦略4－2 【資産流動化促進、施設効率的活用】 ・処分検討地の効果的な売却手法を検討するとともにインテックス大阪の効率的活用を図る。 〔達成目標：資産流動化の促進〕 ・処分検討地等の処分について検討 早期・中期処分検討地（19～22年度まで） 13件 24,706㎡	取組4－2－①資産流動化の促進と施設の効率的活用 ○処分検討地等の処分について検討 ・不動産市況の動向等を十分に見定めたうえで、処分検討地の売却に取り組む。 〔業績目標〕 ・早期・中期処分検討地のうち、未売却分 11件 21,871㎡（うち21年度中売却予定 3件 419㎡） ○インテックス大阪の効率的活用： ・施設の機能、運営組織などの様々な観点からインテックス大阪の効率的、効果的な活用を検討する。 〔業績目標〕・臨海部のまちづくりの方向性も見据えつつ、これまでの検討から得た課題について、さらに具体的な検証を進め、引き続きインテックス大阪の運営のあり方を検討する。	—
		戦略4－3 【監理団体等再建・整理の実施】 ・監理団体の資金的関与の見直しを検討する。 〔達成目標〕 ・資金的関与の見直しの検討 ㈱大阪マーチャンダイズ・マート ㈱大阪鶴見フラワーセンター	取組4－3－①外郭団体等の整理やあり方検討実施 ○資金的関与の見直しの検討 ・㈱大阪マーチャンダイズ・マートの資金的関与の見直しについて、関係者の理解を得ながら、会社の経営状況に及ぼす景気の動向等を考慮に入れ、引き続き検討する。 ・㈱大阪鶴見フラワーセンターの運営検討会において、経営状況も考慮に入れた資金的関与の見直し手順について検討する。	—